

# 「自立・自尊」

## ～新型コロナに負けない心を育てる～



学校長 横山 豊

新入生の皆さん、本日のご入学おめでとうございます。

鶯谷中学・高等学校の校長を務める横山豊よこやまゆたかです。よろしくお祈りします。

振り返ると、昨年度は何と言っても新型コロナウイルス一色の年でした。昨年1月に国内初の感染者が報告されて以来、国内の感染者数は4月の時点では3,000人でしたが、5月には15,000人を超え、7月に入ると30,000人に達しました。そして、今年はずいに400,000人を超える患者数となっています。世界の患者数は何と100,000,000人を超えてしまいました。

ある新聞の記事によると、昨年大ブームとなった「鬼滅の刃」は『日本一でん慈しい鬼退治』と呼ばれたそうですが、文化人類学者で、「鬼と日本人」の著者でもある小松和彦氏によると、人間が制御できない凶悪な力を鬼に背負わせ、排除することで不安を和らげるのが鬼の文化だそうで、例えば「節分」において外に追い払う鬼は疫病の象徴なのだそうです。そう考えると、ウイルスが感染者や医療従事者への差別や偏見を生んだり、感染収束のためのワクチンを巡って大国が争ったりするのも、人間の精神世界に住む鬼の仕業であるのかもしれない。振り返って、我々の心には、鬼を決して住まわせないようにしたいものです。

さて、明治36年の創設以来、本校の発展のエンジンとなってきたのは、「自立・自尊」という建学の精神です。「自分自身に自信とプライドを持って生きていかねば、人間としての自尊心は確立できない」という意味です。本校は、今日も、この「自立・自尊」の建学の精神のもと、「知・徳・体」のバランスの取れた教育を行う中で、これからの日本を支えていく「心豊かで、たくましく、自ら考え行動できる優れたリーダーの育成」を目指しています。

生徒の皆さんには、新型コロナにより混乱する世界の中で、溢れる情報を精査し、真実を見抜き、

誠実に対処する、すなわち「自ら考え行動できる」人間になってほしいと思います。

また、本校の職員は、学園創設時における佐々木とよ先生の言葉にある「我ら真心もて教えの任に当らん」という教えを守り、「生徒に夢をあきらめさせない教育、生徒の指導に手間を惜しまない教育」を心がけています。

新入生の皆さん、そして在校生の皆さん。目指していくべきは、それぞれの夢の実現です。大きな夢を持ち、それに向かって努力を継続する。そうすれば、きっと皆さんの夢はかないます。「大志・継続・実現」。これが本校の目指すところ。本校のスローガンでもあります。令和の、そしてその先の日本を立派に支えていく、コロナに負けないたくましい人間へと皆さんが成長していくことを心から願い、信じています。ともに頑張ってください。

